

ごみ減量化・資源化に関する事業所アンケート調査票（案）

事業所名	:	
ご回答者氏名	:	
ご連絡先	:	

問1 業種

- | | | |
|-----------------------|-----------------|---------------|
| 1. 建設業 | 2. 製造業 | |
| 3. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 4. 情報通信業 | 5. 運輸業、郵便業 |
| 6. 卸売業、小売業 | 7. 金融業、保険業 | 8. 不動産業、物品賃貸業 |
| 9. 学術研究、専門・技術サービス業 | 10. 宿泊業、飲食サービス業 | |
| 11. 生活関連サービス業、娯楽業 | 12. 教育、学習支援業 | |
| 13. 医療、福祉 | 14. 複合サービス事業 | |
| 15. サービス業（他に分類されないもの） | 16. その他（ | ） |

問2 事業形態

- | | | |
|----------------|--------------|-----------------|
| 1. 販売店、店舗 | 2. 飲食店 | 3. 事務所・営業所 |
| 4. 工場・作業所 | 5. 倉庫・配送センター | 6. ホテル・旅館 |
| 7. 学校・保育所・学習施設 | 8. 病院・医療機関 | 9. 映画館、劇場、娯楽施設等 |
| 10. その他（ | | ） |

問3 従業員数(非正規従業員含む)

※この調査票が届いた事業所1か所または店舗1か所の人数です。（他事業所、他店舗は含みません。）

- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|-------------|
| 1. 1～4人 | 2. 5～9人 | 3. 10～19人 | 4. 20～29人 |
| 5. 30～49人 | 6. 50～99人 | 7. 100～199人 | 8. 200～299人 |
| 9. 300人以上 | | | |

問4 事業所の所有形態

- | | | | |
|--------------|------------|---------|---|
| 1. 自社・グループ所有 | 2. 賃貸・テナント | 3. その他（ | ） |
|--------------|------------|---------|---|

問5 住宅併設

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 経営者や従業員の住まいを併設している | 2. 併設していない |
|-----------------------|------------|

問6 営業年数 ※草津市内での営業年数です。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上 | |

貴事業所では、事業活動に伴い発生するごみや資源物について、
どのくらい発生・処理していますか。その量をご記入ください。
また、どのように処理していますか。あてはまるものに○をつけてください。

	品目							
	生ごみ	手付かず食品	食用廃油	新聞	雑誌	段ボール	コピー用紙、OA用紙	機密文書
発生・処理量(kg／年)	問 7	問 8	問 9	問 10	問 11	問 12	問 13	問 14
※数字を記入ください→								
処理方法等 ※○を付けてください	問 23	問 24	問 25	問 26	問 27	問 28	問 29	問 30
一般廃棄物収集運搬業者に ごみとして出している								
一般廃棄物収集運搬業者に 資源物として出している								
自らクリーンセンターに 直接搬入している								
産業廃棄物処理業者に 処理を委託している								
リサイクル業者に売却している								
処理費用を支払い直接リサイクル 業者に資源化を依頼している								
企業内・企業グループ内で リサイクルしている								
納入業者（販売者）が 回収している								
本社（本店）が一括しているので 分からない								
建物の管理会社に任せているので 分からない								

(つづき)

	品目							
	雑紙（メモ用紙、伝票等）	ペットボトル	プラスチック類	缶類	びん	不燃ごみ	粗大ごみ	その他（ ）
発生・処理量(kg／年)	問 15	問 16	問 17	問 18	問 19	問 20	問 21	問 22
※数字を記入ください								
処理方法等 ※○を付けてください	問 31	問 32	問 33	問 34	問 35	問 36	問 37	問 38
一般廃棄物収集運搬業者に ごみとして出している								
一般廃棄物収集運搬業者に 資源物として出している								
自らクリーンセンターに 直接搬入している								
産業廃棄物処理業者に 処理を委託している								
リサイクル業者に売却している								
処理費用を支払い直接リサイクル 業者に資源化を依頼している								
企業内・企業グループ内で リサイクルしている								
納入業者（販売者）が 回収している								
本社（本店）が一括しているので 分からない								
建物の管理会社に任せているので 分からない								

問 39 貴事業所のごみ減量化・資源化に関する取組についてお聞きます。(○は 1 つ)

1. 積極的に取り組んでいる
2. ある程度、取り組んでいる
3. どちらかといえば消極的である
4. ほとんど取り組んでいない

**問 40 貴事業所では、ごみ減量化・資源化に関してどのような取組を行っていますか。
(○はいくつでも)**

[減量化]

1. 取引先や納入業者に簡易包装等の省資源化や通い箱の使用を依頼している
2. 書類のペーパーレス化に努めている
3. 紙コップなど使い捨て製品の使用削減に努めている

[資源化]

4. 古紙回収箱を設置している
5. 缶やびんの分別回収箱を設置している
6. 周辺の事業所と協働して古紙を資源化している
7. 再生紙など再生用品の使用に努めている

[共通]

8. 減量目標を定めて、ごみの減量に取り組んでいる
9. ごみの減量化や資源化を事業所内に呼びかけている（ポスターの掲示など）
10. ごみの減量化や資源化を推進する部署や担当者を設置している
11. ごみの減量化や資源化のマニュアルを作成している
12. ごみに関する検討委員会や組織を設置している
13. 排出するごみや資源物の計量を行っている
14. その他（ ）

問 41 貴事業所で、ごみ減量化・資源化に取り組む主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. ごみを減らすことでコスト削減につながるため
2. 会社の社会的責任を果たすため
3. 会社の宣伝やイメージアップを図るため
4. ISO14001 等の認証を取得している（または取得したい）ため
5. 法律で定められているため
6. 会社全体で規定されているため
7. その他（ ）

問 42 貴事業所で、ごみ減量化・資源化を進めていくうえでの問題点は何ですか。
(○はいくつでも)

1. 資源物を保管しておく場所がない
2. 資源物やリサイクル可能な不用品の引渡し先（回収業者）が分からない
3. 従業員に分別の徹底やごみ減量の意識を浸透させることが難しい
4. 資源化できるものが出ない、または発生量が少ない
5. ごみの減量化、分別に手間がかかる
6. ごみの減量化、分別に費用がかかる
7. 機密書類が多く、リサイクルが難しい
8. 一般廃棄物と産業廃棄物の区別が難しい
9. 分別や排出方法のルールが分からない、理解しにくい
10. ごみ処理について質問や相談する窓口（市）が分からない
11. 特に問題ない
12. その他（ ）

問 43 貴事業所で、今後ごみ減量化・資源化を進めたいと考えている品目はありますか。
(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------------------------|------------|----------|
| 1. 生ごみ | 2. 新聞、雑誌 | 3. 段ボール |
| 4. コピー用紙、OA用紙 | 5. 機密文書 | |
| 6. 雑紙（メモ用紙、伝票、封筒、空箱、シュレッダーくず） | | |
| 7. ペットボトル | 8. プラスチック類 | 9. 缶類 |
| 10. びん | 11. 不燃ごみ | 12. 粗大ごみ |
| 13. その他（ ） | | |

問 44 貴事業所において、ごみ処理にかかる費用について把握していますか。(○は 1 つ)

1. 許可業者等に直接費用を支払っており把握している
2. 直接支払っていないが管理会社等から資料を入手し把握している
3. 事務所の管理費や共益費に含まれているため具体的な費用は分からない
4. 処理費用は特に意識していないため分からない

問 45 貴事業所において、搬入手数料の負担についてどう思いますか。(○は 1 つ)

- | | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|-------|
| 1. 高い | 2. やや高い | 3. 適正である | 4. やや安い | 5. 安い |
| 6. その他（ ） | | | | |

**問 46 ごみ減量化・資源化に関する情報をどのようにして入手していますか。
(○はいくつでも)**

1. 草津市の広報誌
2. 草津市のホームページ
3. インターネット
4. テレビ、ラジオ
5. 新聞、雑誌などの紙媒体
6. 収集運搬業者への問い合わせ
7. 同業者や加盟団体などへの問い合わせ
8. 草津市役所またはクリーンセンターへの問い合わせ
9. 特になし
10. その他（ ）

問 47 ごみ減量化・資源化を進めていくためには、どのような施策が必要だと思いますか。(特に重要と思われるものから○を3つまで)

1. 事業者に対するごみの減量・リサイクルの啓発、指導
2. ごみ減量化・資源化マニュアルの提供
3. 優良事業所の紹介や表彰
4. ごみ減量化・資源化の事例紹介
5. 収集運搬業者、処理業者に関する情報提供
6. 法令や条例等の規制に関する情報提供
7. ごみ処理に関する相談窓口や体制の充実
8. 事業者を対象とした廃棄物の講習会の開催
9. 罰則制度※の強化・徹底
10. ごみ収集運搬業者の指導強化
11. リサイクル事業の拡充
12. 資源循環の推進
13. 社内研修などによる従業員の意識向上
14. その他（ ）

※廃棄物の処理及び清掃に関する法律では、不法投棄や不法焼却、廃棄物処理業の無許可営業、廃棄物の不正輸出等の違反に対し、罰金や懲役を定めています。

問1の「業種」で「10. 宿泊業、飲食サービス業」を選択された方にお伺いします。

**問 48 貴事業所では、食品ロスの発生抑制のために行っていることはありますか。
(〇はいくつでも)**

1. 食べ残しの持ち帰りを可能としている
2. 小盛メニューを導入している
3. 適量注文の呼びかけを行っている
4. 厨房から出る食品残渣を減らすよう従業員に呼びかけている
5. 3010 運動の呼びかけを行っている
6. その他（ ）

**問 49 問 48 で1を選択された方へ伺います。持ち帰り容器は、貴事業所で
用意していますか。(〇は 1 つ)**

1. 用意している〔無償〕
2. 用意している〔有償〕
3. 用意しているが、消費者が自身の持ち帰り容器を用意している場合は、
それを利用する
4. 用意しておらず、消費者が自身の持ち帰り容器を用意していない場合は、対応をお断り
している

参考)食品ロスとは

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。事業者からだけでなく、一般家庭で出る食べ残しや野菜の皮などの過剰除去、賞味期限切れの食品の廃棄も原因のひとつです。

日常生活の中でできる取組としては、食材を使い切る、外食では適量を注文するなどがあります。また、品質に問題がないものの賞味期限などの理由で販売が困難な食料品を、メーカーから引き取り福祉施設などへ提供する「フードバンク活動」や家庭で余っている食料品を学校や職場に持ち寄り、福祉団体などへ寄付する「フードドライブ活動」があります。

参考)3010 運動とは

宴会の時の食品ロスを減らすための取組です。乾杯後の 30 分間は食事を楽しみ、終了前の 10 分間で食べ残しがないか確認することで、無理なく食品ロス削減に繋がります。

問 50 ごみ減量化・資源化などに関してご意見がございましたら、ご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

質問は以上で終了となります。アンケートにご協力いただきありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、●月●日（●）までにポストに投函してください。